

# 計画停電 交通混乱

## 首都圏の鉄道や新幹線



計画停電による間引き運転の影響で吉祥寺駅構内は利用客であふれていた。14日午前8時14分、東京都武蔵野市、越田省吾撮影

東日本大震災に伴う東京電力の「計画停電」初日の14日、首都圏のJR、私鉄各線のダイヤは始発から大幅に乱れた。出勤や通学で利用される都心への各線で、当初計画よりも運行本数が間引きされたり、運休になったりした。

JR東日本は、東海道線や中央・総武線各駅停車などが始発から全線で終日運休になった。

首都圏で運行しているのは、午前10時半現在で上越（東京—新潟）、長野（東京—長野）の両新幹線と、山手（全線）、中央快速（東京—立川）、京浜東北（蒲田—赤羽）、

常磐快速（上野—松戸）、常磐緩行（綾瀬—松戸）の各線などで、普段の2割程度の本数。通常運行の予定だったJR東海の東海道新幹線も、8時20分の東京発新大阪行き「のぞみ209号」など、同区間の計12本の運休を決めた。

鉄道が乱れた影響で、都心に通じる幹線道路は乗用車やタクシー、トラックなどで渋滞。国土交通省は同日未明、「不要不急の外出は控えて欲しい」と呼びかけた。

同省鉄道局は鉄道について計画停電の対象から外すよう東電に求めたが、東電は「難しい」としている。